



カスタムビルダーもビッグツインフリーク。

平澤さんが多大な信頼を寄せているカスタムショップ「ジャックマシン」の代表・本澤さんも大のビッグツインフリーク。平澤さんのビッグツイン好きは本澤さんの影響も大きかったそう

「ハーレーに乗るならコレ、というスタイルがある」
あらゆるパーツをダイヤモンドカットしたゴージャスなロードグライドのオーナーである平澤さんは、バイクだけでなく、身につけるウェアにも強いこだわりをもっている。「せっかくバイクがカッコいいのに乗っている人の格好がイマイチだと残念じゃないですか。だからバイクのスタイルにマッチする服

選びを心掛けています。その点、ビッグツインのウェア、特にジップパーカは、カスタムし尽くされた愛車のスタイルに引けをとらない雰囲気と存在感がある。それでいてレザーやパーカなどはほどよくラフなデザインになっっていて、気合を入れすぎずに楽しむのにもってこいなんです」

ビッグツインの存在は雑誌で知り、長い間憧れていたという平澤さん。3年ほど前にショルダーバッグを手に入れたから、質の良さと高級感、そしてアイテムの幅広さから、すぐにハマってしまい、「揃えたい」という欲求に火がついてしまった。「自分がいいと思ったものをとことん揃えたい、というところがあって、まさに仕事しない！」

「このバイクにはこのウェア」という組み合わせがある。

いくつかバイクを所有する平澤さんは、どの車種に乗るかで身につけるウェアを変えている。バイクと人、トータルでコーディネートすることで、バイクライフがより楽しくなるのだという



ロードグライドはレザーパーカでラフに出かけるのが定番のスタイルです！



1: 普段使いもしているというホースハイドシュリンクのラウンドファスナーウォレット。中央には脱手取り柄のクロスが付く。2: 胸元の大きなシルバークロスも手取り柄。車両のダイヤモンドカット同様に、光が当たるとさまざまな色に輝く。3: レザージップパーカやウォレット、ネックレスに合わせてニットキャップもシルバークロスが付いたものをチョイス。4: ベルトは唐草が彫られたギャリソンバックル付き。ハトメにも彫りが施される特別な逸品だ



2012 FLTRXSE

with 平澤義一さん

エンジン付きの乗り物は何でも好きだという平澤さんは数台バイクを所有しているが、ジャックマシンで製作したCVOは特に気に入る

こだわる大人が選んでいる BIGTWINの レザー& シルバーアイテム

高度な技術をもった職人が作り上げる、ビッグツインのレザーやシルバーのプロダクト。その魅力にとりつかれたハーレー乗りのこだわりとは?

撮影: T.Nunaga 沼尾賢平 photo: K.Okamoto 岡本浩太郎
問い合わせ: ビッグツイン代々木上原店 TEL03-5465-8080 <http://www.bigwin-japan.com>
取材協力: ジャックマシン TEL028-612-2980 <http://www.jackmachine.net>



1: デジタルメーターでまとめたインターパネルまわり。ナビはiPadを使用。2&3: カバー類やステップ、エンジンのフィンに至るまで、あらゆるところにダイヤモンドカットが施されている。車体が大きいため取り回しやすさを考慮し、マンパのバックギアを装備。4: バックレスト付きのツアーバックはタンデムする時の仕様